

# 財政健全化指標関係 実質赤字比率・連結実質赤字比率の状況

## 【実質赤字比率】

(単位：千円)

会計区分	会計名称	実質収支額			摘要
		平成24年度	平成23年度	増減	
一般会計等	一般会計 A	447,996	579,546	131,550	形式収支 - 繰越財源
標準財政規模		20,672,815	20,768,885	96,070	標準税収入額、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合算額
実質赤字比率		2.16%	2.79%	0.63ポイント	黒字の場合は、マイナス表示

## 【連結実質赤字比率】

(単位：千円)

会計区分	会計名称	実質収支額（資金不足・剰余金）			摘要	
		平成24年度	平成23年度	増減		
一般会計等以外の特別会計のうち公営企業会計を除く	国民健康保険事業	225,324	183,608	41,716	形式収支 - 繰越財源	
	国民健康保険直営診療所事業	11,129	6,409	4,720		
	介護保険事業	14,051	58,513	44,462		
	後期高齢者医療事業	4,936	5,759	823		
	老人保健事業	0	0	0		
	介護サービス事業	6,178	7,766	1,588		
	計 B	261,618	262,055	437		
公営企業会計	法適用	水道事業会計	1,052,422	1,026,182	26,240	流動資産 - (流動負債+算入地方債) (資金不足の場合、解消可能資金不足額があれば控除可能) 病院事業会計は、病院特例債及び過疎地域自立促進特別事業債(518,765千円)分を資金不足額より控除 算入地方債・・・建設改良費、準建設改良費以外の経費に充てるために起した地方債の残高
		病院事業会計	180,472	0	180,472	
		計 C	1,232,894	1,026,182	206,712	
	法非適用	簡易水道事業	85,050	74,074	10,976	形式収支 - 繰越財源 (赤字の場合、解消可能資金不足があれば控除可能)  (形式収支 - 繰越財源) + 土地収入見込額 - 市債残高 ただし造成中の用地造成事業は算定対象外。また当該会計の決算額が黒字の場合には、市債残高を算入した結果が赤字であっても「0」となる。
		集落排水事業	12,067	11,442	625	
		公共下水道事業	49,027	35,947	13,080	
		浄化槽整備事業	28,771	11,961	16,810	
		工業用地造成事業	0	0	0	
		宅地造成事業	53,773	48,123	5,650	
	計 D	228,688	181,547	47,141		
	計 (B+C+D)		1,723,200	1,469,784	253,416	
	合計 (A+B+C+D)		2,171,196	2,049,330	121,866	
	標準財政規模		20,672,815	20,768,885	96,070	標準税収入額等、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合算額
連結実質赤字比率		10.50%	9.86%	0.64ポイント	黒字の場合は、マイナス表示	